



ねらい	- 一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育士や保育園の環境に慣れていく。 - 保育士に見守られながら自分の好きな場所や玩具、遊びなどを見つけて穏やかに過ごす。	行事	身体測定 誕生会 避難訓練	家庭連絡	園での様子、家庭での様子を詳しく伝え合う。不安なく子どもを預けていかれるように配慮する。	自己評価	
今月の内容（養護・教育等）		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り	
- ゆったりとした雰囲気の中で保育士とたくさん触れ合い、少しずつ園生活に慣れるようにする。 - 保育士と一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 - 給食を楽しみにして待ち、美味しく頂く。		- 特に朝の健康状態をていねいに観察し、一人ひとりの状態を十分に把握する。 - 保育室内外の安全、衛生を整え、温度、湿度、換気などに留意する。 - 静かで安心出来る雰囲気を作る。 - 落ち着いて食事に向かう事ができるよう、テーブルごとに職員を配置し、どの子どもにも目が届くようにする。		- 一人ひとりの気持ちをしっかり受け止めて、信頼関係を築きながら安心して過ごせるようにする。 - 好きな遊びや場所を一緒に見つけていく。 - まだ食べたことのない食材なども多いため、咀嚼の状況などよく見ていき、喉に詰まらせることのないよう等、目を配る。 - 食事が楽しい時間となるよう明るい雰囲気を心掛ける。			
長時間保育	ゆったりとした雰囲気の中で保育士と安心して過ごす。	安全に安心して過ごせるようにする。		健康状態や機嫌を見極め傍に寄り添って安心できるようにする。			